

ものづくり教育  
充実へ意見交換

鯖江、総合会議初会合

鯖江市総合教育会議の本年度初会合が18日、市役所で開かれた。子どもたちのものづくり体験やプログラミング教育の充実策について意見を交わした。

牧野百男市長と辻川哲也教育長、市教育委員4人が出席。市の教育大綱で掲げる方針について市教委事務局が本年度の実績と来年度の取り組み予定を報告し、委員の意見を聞いた。

ものづくり教育の推進については、中学校の職



場体験事業で製造業を希望する生徒が少ないことを踏まえ、委員から「地元で成功した人の話を収録して各校で放送してみよう」と「図書館に立志コーナーを設けては」など

の意見が出た。プログラミング教育の充実に関しては、来年度から市内の全小中学校でプログラミングクラブが設けられることなどから、小中学校が連携した取り組みや指導者の育成を望む声が出た。また教員の多忙化解消に向けては、事務局がお盆期間を閉校したり、全小中学校へ学校運営支援員を配置したりするなどの取り組みを説明した。

(桑野真吾)

.....

プログラミング教育やものづくり体験などについて意見を交わした鯖江市総合教育会議は18日、同市役所